

Internet Explorer 7 について

本資料では、POWER EGGを「Internet Explorer 7」で動作させる場合に必要な、設定及びActiveXのインストールについて説明します。

1. Internet Explorer 7 の設定について

「Internet Explorer 7」では、「インターネット一時ファイルと履歴の設定」、「セキュリティゾーンとセキュリティの設定」及び「文字サイズの設定」作業が必要です。

■インターネット一時ファイルと履歴の設定



1. 「Internet Explorer 7」を起動します。

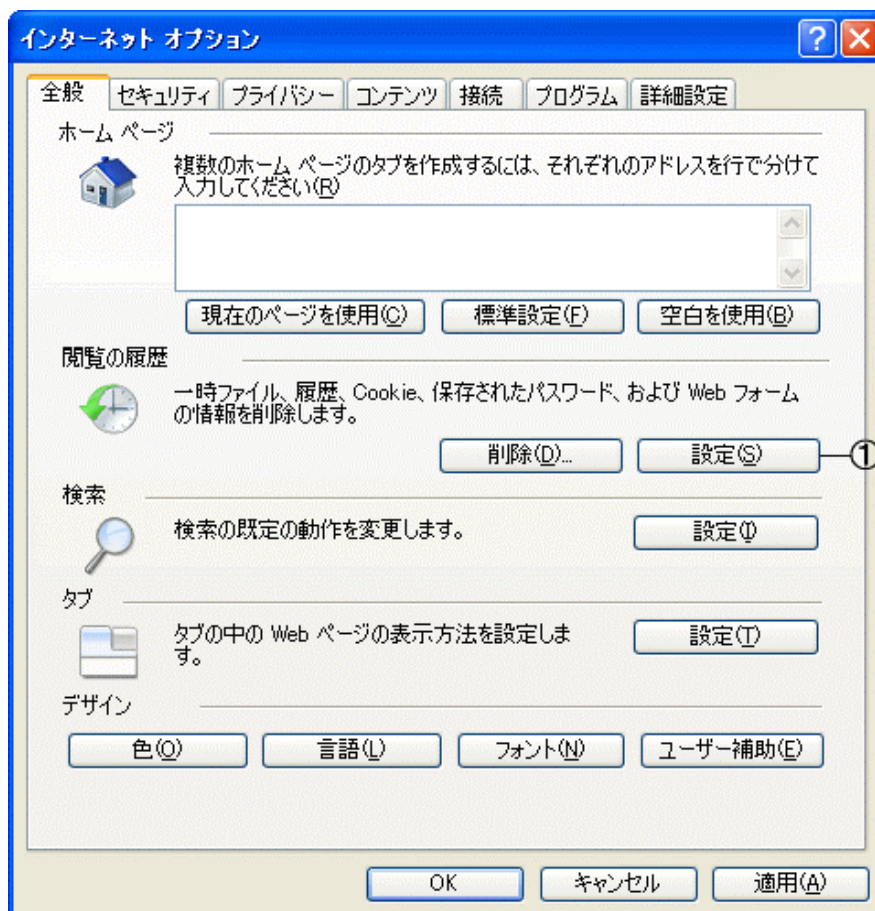


2. 「インターネットオプション」ダイアログボックスを表示させます。

[ツール]→[インターネットオプション]をクリックして下さい。



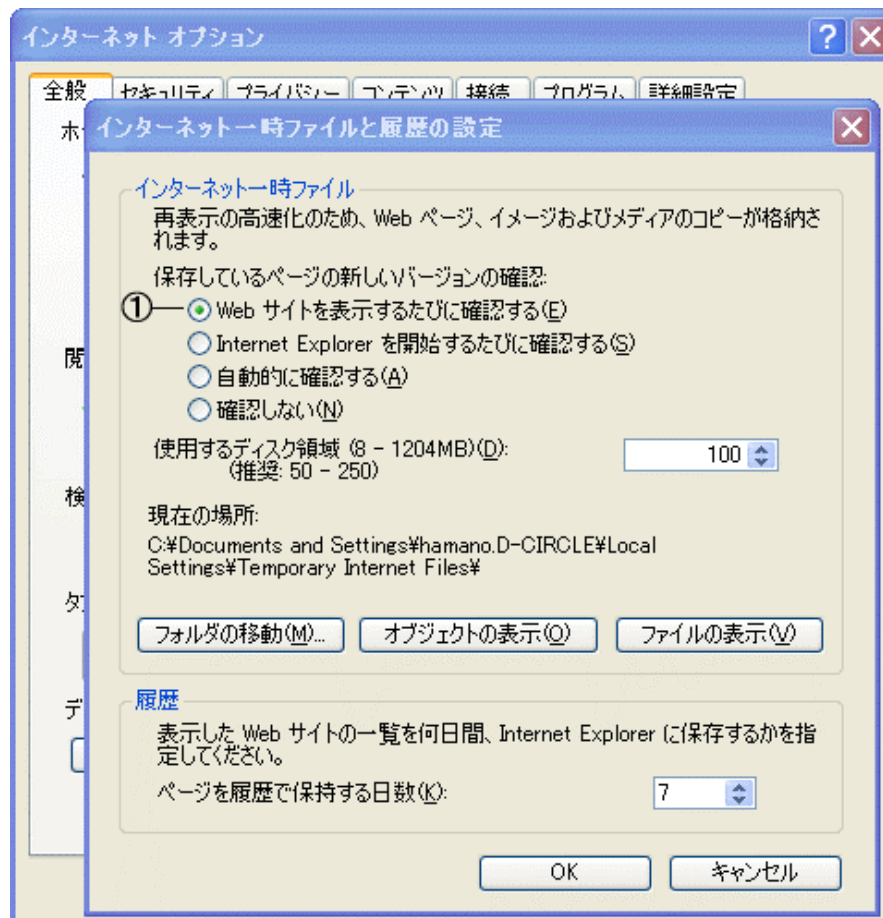
3. 閲覧の履歴の[設定]ボタンをクリックします。



① [設定]ボタン をクリックして下さい。



4. 「Web サイトを表示するたびに確認する」ラジオボタンをクリックします。



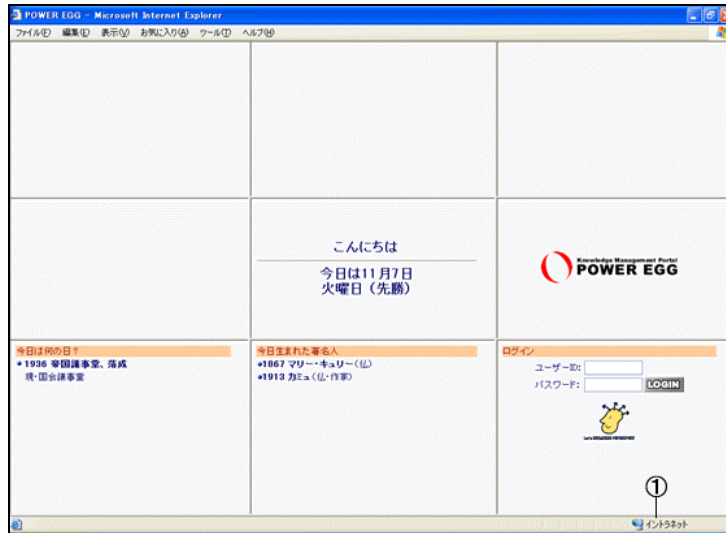
① [Web サイトを表示するたびに確認する]ボタンをクリックして下さい。
これで、「インターネット一時ファイルと履歴の設定」は完了です。



■セキュリティゾーンとセキュリティの設定



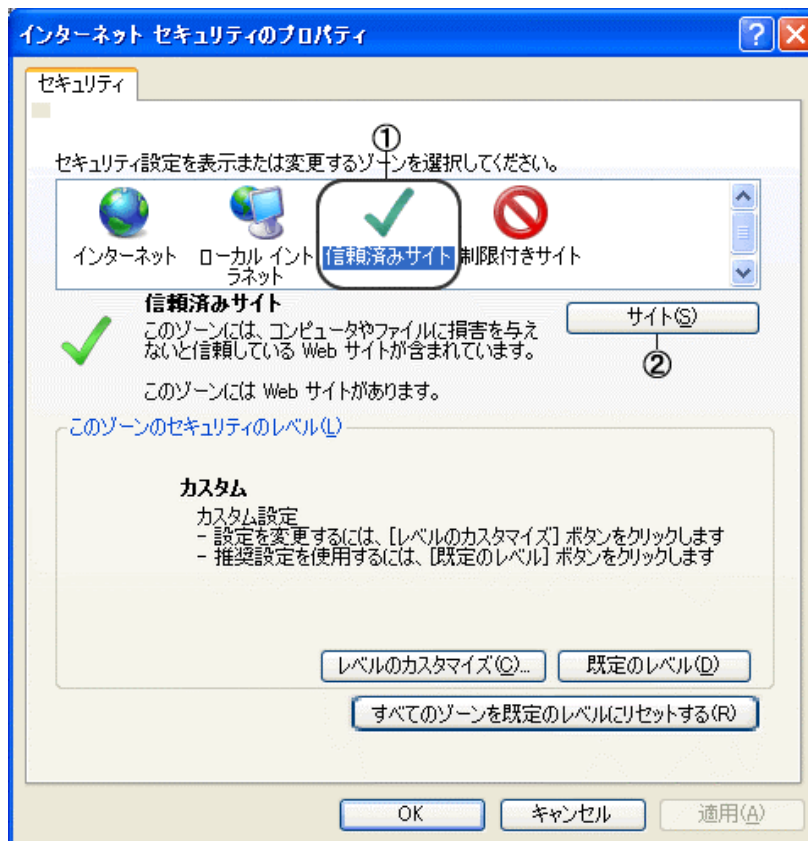
1. POWER EGG を起動し、セキュリティゾーンをダブルクリックします。「インターネット セキュリティのプロパティ」画面が表示されます。



① 画面右下の、セキュリティゾーン表示をダブルクリックします。

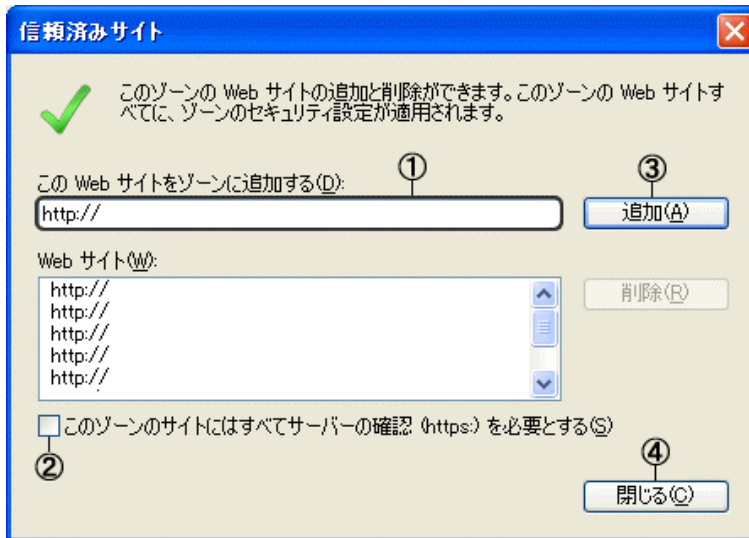


2. “信頼済みサイト”をクリックし、[サイト]ボタンをクリックします。





3. POWER EGG の URL を入力後、[追加]ボタンをクリックし、POWER EGG サイトを信頼済みサイトに組み入れます。



① POWER EGG の URL のサーバ名又は IP アドレスまでを入力して下さい。ポート番号を指定している場合は、ポート番号まで指定して下さい。

例えば、POWER EGG のログイン URL が、「http://pesvr:7777/pe4j/index.jsp」の場合、「http://pesvr:7777」と入力します。（「pesvr」がサーバ名、「7777」がポート番号を指します。）

② “このゾーンのサイトにはすべてサーバの確認(https:)を必要とする”

チェックされている場合、チェックをはずして下さい。

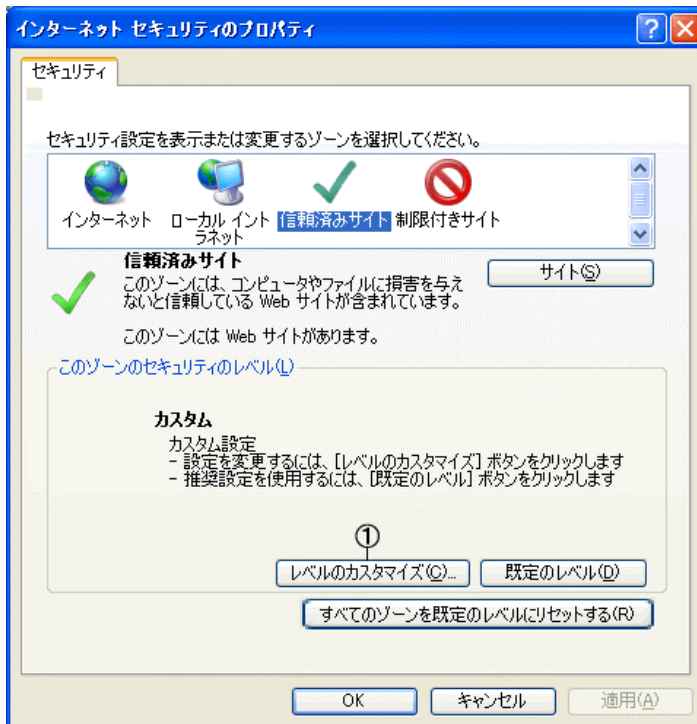
③ [追加]ボタン をクリックして下さい。

④ [閉じる]ボタン をクリックして下さい。

これで、POWER EGG サイトが、信頼済みサイトに組み込まれます。



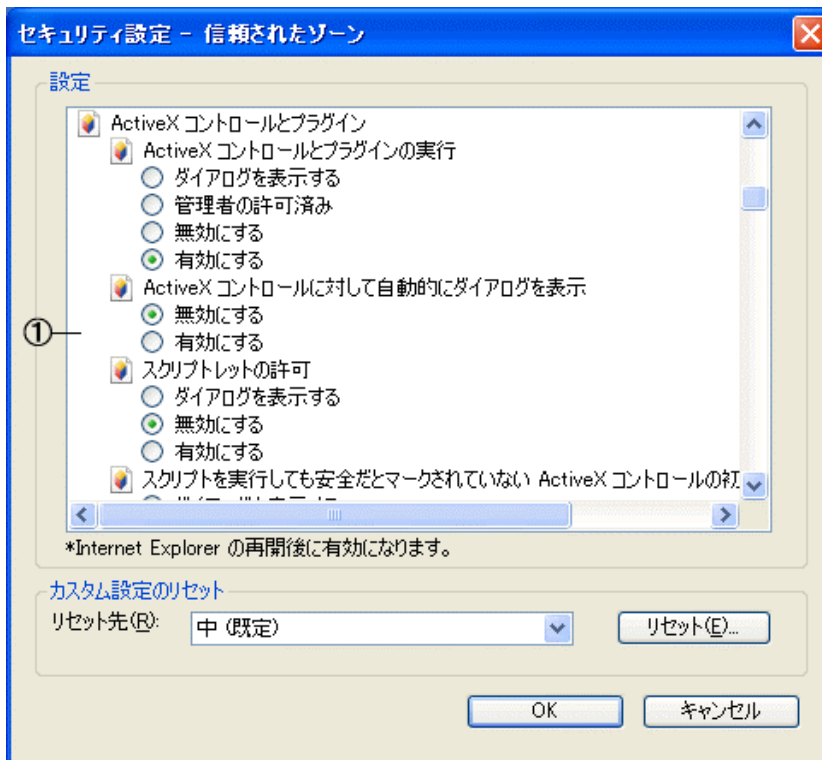
4. 次に、セキュリティの設定を変更します。[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。



① [レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックして下さい。セキュリティ設定画面が開きます。



5. セキュリティの設定を変更します。



①設定 以下の項目を設定して下さい。

設定項目	設定値
ActiveX コントロールとプラグインの実行	「有効にする」
ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示	「無効にする」
スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行	「有効にする」
スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行	「有効にする」
署名された ActiveX コントロールのダウンロード	「ダイアログを表示する」 または 「有効にする」
未署名の ActiveX コントロールのダウンロード	「ダイアログを表示する」 または 「有効にする」
Web サイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する	「有効にする」(推奨)
サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する	「有効にする」(推奨)
フィッシング詐欺検出機能を使う	「無効にする」(推奨)
ポップアップブロックの使用	「無効にする」
ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示	「有効にする」



6. Internet Explorer を再起動します。

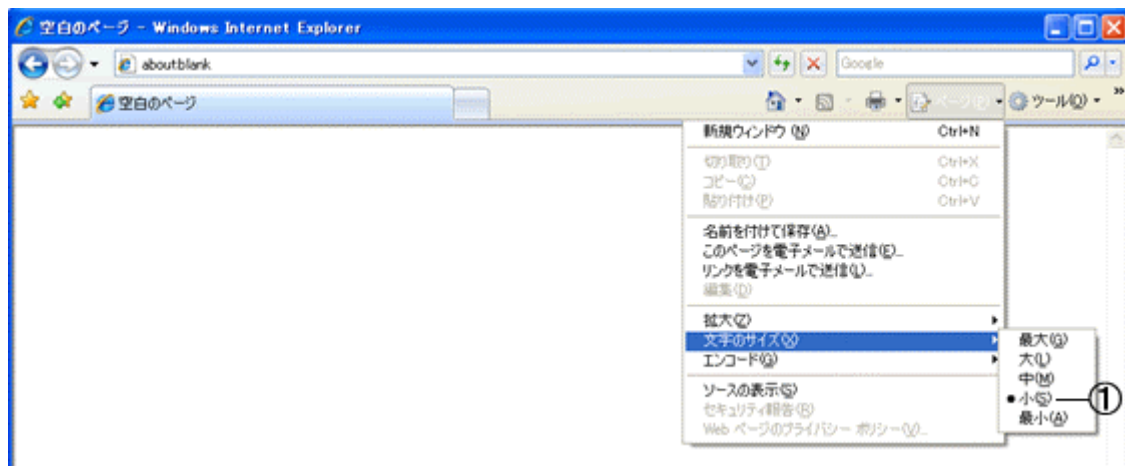
これで、「セキュリティゾーンとセキュリティの設定」作業が完了です。

■文字サイズの設定



1. [ページ]メニューから文字サイズの『小』を選択します。

[ページ]→[文字のサイズ]→[小]を選択します。



① “小” を選択して下さい。

これで、「文字サイズの設定」は完了です。



MEMO

POWER EGG の画面は、ディスプレイの解像度が 800×600、ブラウザのフォントサイズが『小』の状態以最適化しております。文字のサイズを『小』以外に設定しても動作しますが、表示が崩れる可能性があります。

なお、ディスプレイの解像度が 1024×768 以上の場合は、フォントサイズが『中』でも正常に表示可能です。



2. ActiveX のインストールについて

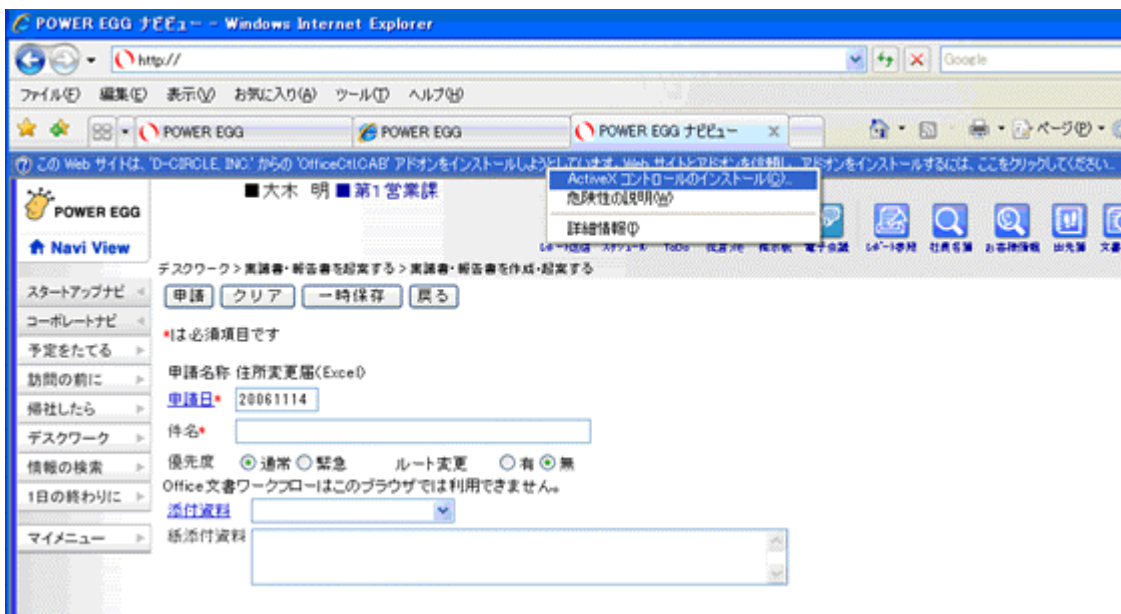
ActiveX を使用している“Excel ファイルを利用した申請画面”、“クライアントプログラム起動”機能を最初に使用するとき、ActiveX のインストールを行う必要があります。

MEMO

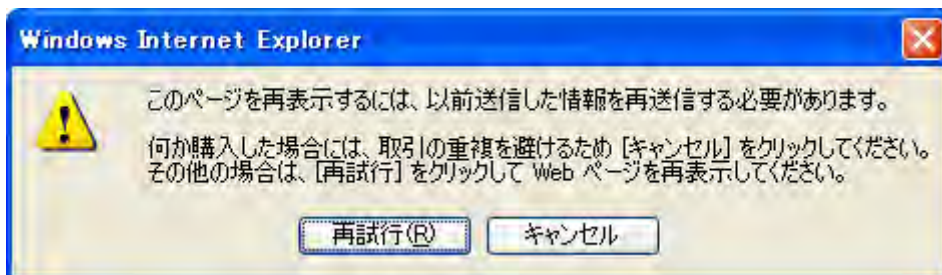
セキュリティ設定において、“署名された ActiveX コントロールのダウンロード”を「有効にする」に設定した場合、自動的にインストールされます。ただし、ActiveX の署名期限(2008 年 11 月)以降に実行した場合、Step1からの操作が必要になります。



1. “Excel ファイルを利用した申請画面”、“クライアントプログラム起動”機能を最初に使用するとき、警告バーが表示されます。警告バー上でクリックし、[ActiveX コントロールのインストール]をクリックします。



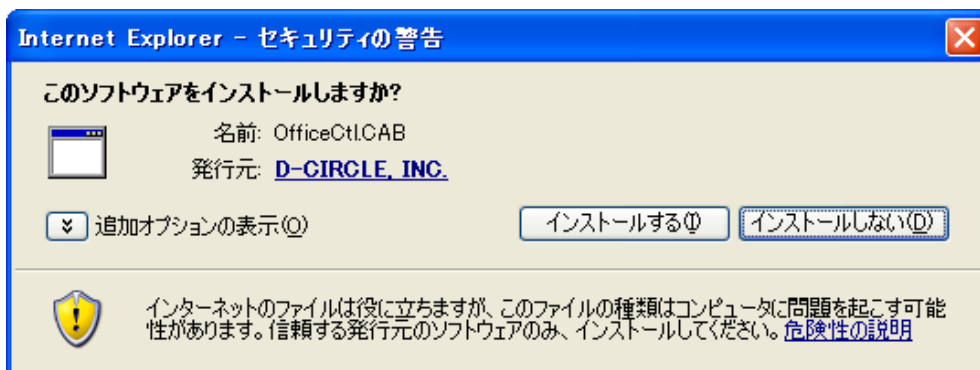
2. 以下の画面が表示されます。[再試行]ボタンをクリックして下さい。



3. 一旦、ナビビュー画面に戻ります。再度、Step1 の画面を表示して下さい。



4. セキュリティの警告画面が表示されます。[インストールする]ボタンをクリックして下さい。



これで、ActiveX のインストールは完了です。

MEMO

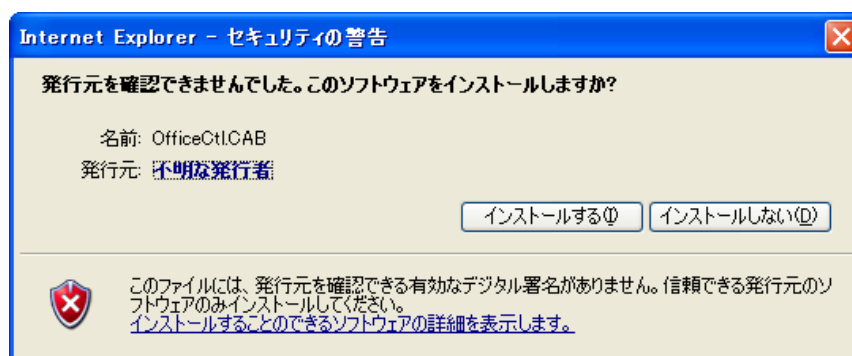
セキュリティの警告画面の“名前”の表示について

“Excel ファイルを利用した申請画面”機能の場合、“OfficeCtl. CAB”

“クライアントプログラム起動”機能の場合、“AppCtl. CAB” と表示されます。

MEMO

セキュリティの警告画面で“発行元を確認できませんでした”と表示される場合



ActiveX の署名の期限が切れた場合(※1)、上記画面が表示されます。名前が、“OfficeCtl. CAB” または“AppCtl. CAB”であることを確認し、[インストールする]をクリックして下さい。署名の期限が切れているだけで、問題なく動作します。

※1: POWER EGG Ver. 1.9 では、2008 年 11 月までの署名が行なわれています。2008 年 12 月以降に ActiveX のインストールを行うと、上記画面が表示されます。

※ 参考 セキュリティの設定項目と影響範囲について

「Internet Explorer 7」のセキュリティの設定項目と、正しく設定しなかった場合の影響範囲については、下記を参照して下さい。

設定項目	設定値	正しく設定しなかった場合の影響箇所
ActiveX コントロールとプラグインの実行	「有効にする」	ActiveX 機能(“Excelファイルを利用した申請画面”、“クライアントプログラム起動”)が使用できません。
ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示	「無効にする」	ActiveX 機能使用時、都度ダイアログが表示され操作性が落ちます。
スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行	「有効にする」	ActiveX 機能が使用できません。
スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行	「有効にする」	ActiveX 機能が使用できません。
署名された ActiveX コントロールのダウンロード	「ダイアログを表示する」 または 「有効にする」	ActiveX のインストールが出来ないため、ActiveX 機能が使用できません。
未署名の ActiveX コントロールのダウンロード	「ダイアログを表示する」 または 「有効にする」	POWER EGG が準備する ActiveX の有効期限(2008年11月)が切れたあとは、ActiveX のインストールができません。
Web サイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する	「有効にする」(推奨)	ダイレクトメニュー等から処理を新しいウィンドウで開いたとき、画面上部にアドレスが表示されます。動作には支障はありません。
サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する	「有効にする」(推奨)	ダイレクトメニュー等から処理を新しいウィンドウで開いたとき、ウィンドウタイトルに URL が表示されます。動作には支障ありません。
フィッシング詐欺検出機能を使う	「無効にする」(推奨)	NaviView 画面の表示が遅くなる場合があります。
ポップアップブロックの使用	「無効にする」	POWER EGG 内部でエラーが発生したとき、エラー内容が通知されます。「有効」設定になっていると、エラー内容を確認することができなくなります。
ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示	「有効にする」	ファイルのダウンロード処理が動作しなくなります。

※ 留意事項

- ブラウザ右下より、画面サイズを 100%以外にすると、文字が重なったりレイアウトが崩れる可能性があります。POWER EGG では、100%以外の値で動作させた場合の動作保証はいたしておりません。
- WindowsXP の不具合により、Windows XP を実行しているコンピュータで、Windows Internet Explorer 7 を使用してファイルをダウンロードできないことがあります。詳細については、マイクロソフトのサポート情報をご確認ください。
[文書番号:932823]Windows XP を実行しているコンピュータで、Windows Internet Explorer 7 を使用してファイルをダウンロードできないことがある
<http://support.microsoft.com/kb/932823/ja>